

会社案内

「一読の価値ある新刊書」を紹介する

TOPPOINT[®] トップポイント

SINCE 1987



Personal Brains

<https://www.toppoint.jp>

1冊の良書との出会いが、
ビジネスを、人生を、変える！ — そう信じて、
毎月、「一読の価値ある新刊書」を紹介しています。

世の中には、たった1冊の本と出会ったことで、その後のビジネスや人生が大きく変わったという経験を持つ人が多数おられます。

また、多くの著名な人たちに、「これが私の座右の書」として紹介される名著が世に数多く存在します。巷では「活字離れ」「出版不況」が叫ばれていますが、その原因の一つは、あまりの「出版洪水」ゆえに、人々に「良書に関する情報」が届いていないだけなのではないでしょうか？

「これだけ新刊書が多ければ、どれを読めばよいのかわからない」「じっくりと書店で本を探すヒマがない」—— こんな声が多く聞かれます。

しかし、このような理由で、良書との出会いが失われるのは残念でなりません。

当社編集部では、毎月100冊以上のビジネス関連の新刊書に目を通しております。そしてそれらの中から、「内容が充実している」「新しい視点や知恵、ヒントがある」などの当社独自の判断で、「一読の価値ある書」を10冊選び出し、その概要を紹介する情報誌『トップポイント』を発行しております。

読者の方が本を購入される際の判断基準となるよう、書評形式ではなく、あくまでも本の内容をできるだけ正確に紹介します。

原本が読みたくなれば、巻末にある「本の宅配サービス」用紙を使って簡単に注文することができます。「内容が充実した本を選びたい」といった方や、「忙しくて書店に行く暇がない」といった方々と、「良書」とが出合うきっかけをつくります。

トップポイント 編集長 橋本忠明



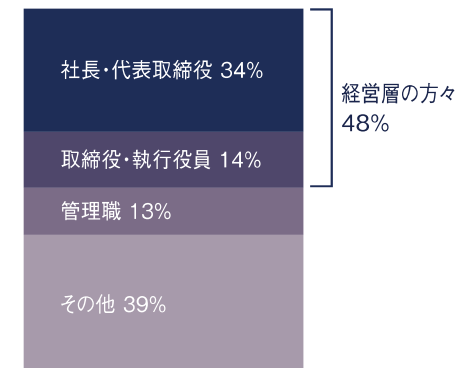
創刊以来読み込んできた書籍は3万冊以上

1987年の創刊以来、多くの経営者をはじめ、
ビジネスの最前線で活躍されている方々に
愛読されてきました。

購読者の約5割が、経営を担うトップマネジメントの方々。

トップポイントは創刊以来、ビジネスの最前線で活躍される様々な方に愛読されてきました。

中でも「忙しくて時間はないが、常に新しい情報や知識を仕入れ、勉強し続けたい」と考える経営層の方々に多くご購読いただいています。管理職の方々も含めると、実に6割以上の読者がマネジメント層となります。そのような方々にご満足いただける選書・内容となるよう、日々、研鑽を続けております。



トップポイント読者層 (2024年3月31日時点)

購読者数は1万人以上。その大半の方が、8年以上のご愛読。

定期購読者の多くが、そもそも読書家という方や、向学心旺盛な方、情報収集に熱心な方々です。そのため、トップポイントをご購読いただき、一度お眼鏡にかなうと、長期間にわたりご愛読くださいます。定期購読者の平均購読年数は、8.58年。20年以上ご愛読くださっている方も数多くいらっしゃいます。

平均購読年数
8.58年



『トップポイント』の創刊30周年記念

小誌編集長が、企業経営に関する良書・名著を90冊厳選した『ビジネス名著大全』を上梓！

過去に紹介しました良書・名著の読みどころをピックアップ。発売後、多くの反響をいただき、すぐに重版されました。

『ビジネス名著大全』 橋本忠明著 / 日本経済新聞出版社刊
485ページ / 2,750円(税込) / 2017年11月発行

創刊以来、30年以上にわたり支持され続ける
トップポイント独自の“こだわり”。

「著者」と「読者」をつなぐ、橋渡しに徹します。

「トップポイント」は、いわゆる「書評」ではありません。読者の方が、本を購入される際の「判断基準」となるよう、本の概要をわかりやすく紹介します。

「本の紹介」から「本の購入」までをサポートします。

「トップポイント」を読んだ後、原著が読みたくなれば、巻末にある「書籍注文書」にて、別途ご注文いただけます。本を探しに、書店に行く手間をはぶきます。

「10冊」を、厳選します。

毎月、100冊前後の新刊書を手入れし、それらを熟読して、「切り口や内容が新鮮なもの」「新たな知恵やヒントが豊富なもの」など、「一読の価値ある新刊書」を厳選して、ご紹介します。

広告を取りません。

広告を取ると、どうしても広告主に対する“配慮”が生じ、紹介書籍の選定や原稿内容に影響が出る、と考えます。そのため、小誌では広告を一切取りません。

シンプルに徹しています。

カラフルな読み物が巷には溢れていますが、小誌は、集中して読み、知恵やヒントを吸収しやすいように、シンプルな色、デザインにこだわっています。



1万冊以上の蔵書を誇る
三方の壁を書棚に囲まれた
編集室風景



1冊あたり5人以上の編集
員で原著の内容を正確に
そして客観性をもって要約

書籍の紹介だけにとどまらない、
「著者」と「読者」をつなぐ活動。

「読者が選ぶベストブック」アンケートを実施

※現在のTOPPOINT大賞

毎年、上半期と下半期に分けて、トップポイントで紹介した書籍のうち、「あなたにとってのベストブックはどれでしたか?」という読者アンケートを実施しています。目の肥えたトップポイント購読者によって選出された受賞書籍の表彰を行っています。

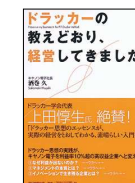
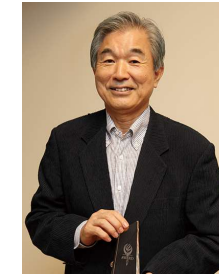


2005年上半期

読者が選ぶベストブック
受賞

『鈴木敏文の 「本当のよいウソを見抜く」』

勝見明 著 / プレジデント社 刊



2011年上半期

読者が選ぶベストブック
受賞

『ドラッカーの教えどおり、 経営してきました』

酒巻久 著 / 朝日新聞出版 刊



2013年下半期

読者が選ぶベストブック
受賞

『働き方』

稲盛和夫 著 / 三笠書房 刊

講演会の開催

「読者が選ぶベストブック」に選ばれた著者を中心に、特に人気の高い著者をお招きし、講演会を開催しています。

過去の講演会開催例



『なぜ日本人は学ばなくなったのか』

講師：齋藤 孝氏
明治大学文学部 教授



『ドラッカーの教えどおり、
経営してきました』

講師：酒巻 久氏
キャンノン電子株式会社 代表取締役社長



『何のために働くのか』

講師：北尾吉孝氏
SBIホールディングス株式会社 代表取締役CEO

著名な経営者をはじめ、ビジネスの最前線で活躍されている様々な方々から、数多くの推薦の言葉をいただいています。

あのベストセラー書や話題の本の中でも著者の方々にご高評いただいています。



「週刊東洋経済」誌にて、伊藤忠商事株式会社 社長の岡藤正弘様より、下記のようにご紹介いただきました。

「社長になってからは目を通さなくてはいけない書類が山のようにある。とてもじゃないがたくさんの本を読んでいる時間がない。その代わりに、『トップポイント』という新刊書10冊を要約する月刊誌をここ3、4年購読している。要約を読んで、面白そうな本があれば買って読むようにしている。」

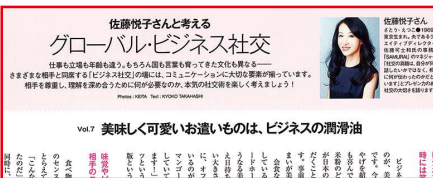
「週刊東洋経済」誌 (2011年1月22日号)



朝日新聞の「リーダーたちの本棚Vol.36」にて、ポルシェジャパン株式会社 社長の黒坂登志明様より、下記のようにご紹介いただきました。

「お勧めしたいのが「TOPPOINT」という月刊誌です。ためになるビジネス関連の新刊書のタイトルと内容が端的に紹介されています。朝早くから夜遅くまで会社にて仕事に忙殺される我が身には大変有用で、同誌と新聞の書評と出版広告の情報は常にインプットし、効率よく選書、購読しています。」

朝日新聞「リーダーたちの本棚Vol.36」(2012年3月12日朝刊)



「25ans」誌にて、夫であるクリエイティブディレクター 佐藤可士和氏の事務所「SAMURAI」マネジャーの佐藤悦子様より、下記のようにご紹介いただきました。

「毎月の新刊書のなかから、内容が斬新なものを選んで概要を紹介する月刊誌。『セレクトが素晴らしく、これ一冊で時代の空気がわかるので愛読しています。この雑誌をまずチェックして、より深く読みたいと思ったら新刊書を買うということもよくあります。』

「25ans」誌 (2016年7月号)



『レバレッジ・リーディング』 本田直之著/東洋経済新報社刊 (P79~81より抜粋)

「日本にも書評サービスはあります。『TOP POINT』(パーソナルブレン)がその一つで、会員制の月刊誌です。この雑誌は毎月、100冊以上のビジネス関連の新刊の中から、内容が斬新で、アイデアにあふれ、経営者、ビジネスパーソンに本当に役立つ「一読の価値ある本」を10冊選び、1冊あたり4ページで、わかりやすく紹介してくれています。出版社の宣伝文句をそのまま引用したような書評ではなく、実際に選者が読んだうえで選んでいることが伝わります。」



『「学び」を「お金」に変える技術』 井上裕之著/かんき出版刊 (P165~166より抜粋)

最近は、「できるだけたくさん本にふれたい。それも時間をかけないで」という矛盾した思いを叶えてくれるシステムがあります。「TOPPOINT」もその一つ。「TOPPOINT」は毎月数多く出版される新刊書の中から一読の価値がある本を紹介している本のガイドブックで、1987年の創刊以来、この雑誌を手がかりに良書と出会い、効率のよい読書習慣を確立している人はかなりの数にのぼると聞きます。私ももう10年以上、「TOPPOINT」を愛読しています。



『コンサルタントの勉強法』 野口吉昭著/PHP研究所刊 (P70~71より抜粋)

『日経ビジネス』『日経ビジネスアソシエ』(中略)、「TOPPOINT」(パーソナルブレン)…。これらの雑誌はすべて私が定期購読しているもので、ほぼ週末にまとめて自宅に届けてもらう仕組みになっている。(中略)私が雑誌を定期購読で購入しているのは、「情報が自然に入ってくる仕組み」がほしいからだ。これはビル・ゲイツも言っていることだが、定期購読のいいところは雑多な情報が勝手に自分のなかに入ってくることだ。これがもし直接書店に行ったり、キオスクで気がついた際のみ雑誌を選ぶとなると、どうしても興味のある特集記事が載っている雑誌しか買わなくなる。つまり情報収集の視野が狭くなる。しかし定期購読であれば、どんなに興味のない記事でもとりあえずは目を通す。食わず嫌いがなくなるわけだ。すると先入観では「読む価値はない」と思っていた記事のなかに、意外な宝が隠されていることを発見することがある。

他にも数多くの推薦の言葉をいただいています。ぜひWEBサイトもご覧ください。

トップポイント <https://www.toppoint.jp>

トップポイントは定期購読誌です。一般の書店では販売しておりません。送料無料毎月お手元にお届けいたします。

1年間/12冊 14,520円 1冊あたり 1,210円 | 2年間/24冊 26,620円 1冊あたり 1,109円 | 3年間/36冊 36,300円 1冊あたり 1,008円 (税込)

株式会社パーソナルブレーション

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町640 烏丸センタービル4階
Tel:075-256-2224 Fax:075-256-2270 E-mail:service@p-b.co.jp